

2023年度 一般選抜(前期日程) 国語 出題のねらいと解答例

出典

阿部公彦 「日本語『深読み』のススメ」 Koroha 48号収録

出題のねらい

本問題は、語句の意味・用法などを理解したうえで使いこなす能力、文章の構成や特徴ある表現を捉える分析力、論理の展開や要点を的確に読みとる理解力、内容全体を総合的にまとめる論理力、論理的な構成を工夫して文章にまとめる構成力を測っている。

昨年度までと同様、今年度の問題では長文を読み、それに基づいて語彙や文法などにかかわる基礎知識を問うとともに長文記述の問題を出題した。

解答例

問題Ⅰ (配点20点)

問一

- (ア) せっちゅう (イ) と (ウ) むしょう (エ) かや (オ) じんじょう

問二

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (あ) 頻繁 | (い) 冥福 | (う) 厳粛 | (え) 崇高 | (お) 儀礼 |
| (か) 茨 | (き) 訴 | (く) 暈 | (け) 懸命 | (こ) 疎遠 |

問三

- (i) 受領 (ii) 縮小 (iii) 意外 (iv) 淡泊 (v) 従属

問題Ⅱ (配点55点)

問一

5

問二

2

問三

5

問四

1

問五

3

問六

2

問七

3

問八

挨拶はその後の会話やことばのための「きっかけ」であり、メッセージを繰り返すことで、ことばの物質性を生み、聞き手に身体的な体感をもたらす。そして、「私」と「あなた」の関係性を確認すると同時に、その関係性を樹立／構築する働きをすること。 (116字)

問九

『卍』のように、読者に不親切な作品では、読者の代わりに登場人物同士で関係を樹立し、読者はそれを読み進めながら徐々に理解していくという形をとることがある。このように、作品の中で、読者とフィクションの世界をつなげる工夫がされているということ。 (116字)

問題Ⅲ (配点25点)

評価方法

語句の適切な使用、文章の明快さ、問題文に提示された概念の理解、記述内容の論理性などを総合して評価する。